症例の記載について

症例の概要は以下の様式に従って記載する．

A.　原疾患の詳細な記述が必要な場合

患者：○歳，○性．
初診：20×× 年○月．
主訴：○○○○○○○○．
家族歴：○○○○○○○．
既往歴：○○○○○○○．
現病歴：○○○○○○○○○○○○．
現症：○○○○○○○○○○○○．
（必要に応じ下記項目に分ける．）
全身所見；○○○○○○○○○○．
口腔外所見（顔貌所見）；○○○○○○．
口腔内所見；○○○○○○○○○○．
X 線所見：○○○○○○○○○○．
CT 所見：○○○○○○○○○○．
MRI 所見：○○○○○○○○○○．
その他の画像診断所見：○○○○○○○．
各種検査所見（血液・生化学検査など）：○○○○．
臨床診断：（必要に応じ TNM 分類）○○○○○．
処置ならびに経過：○○○○○○○○○○．
（摘出物所見：○○○○○○○○○○．）
病理組織学的所見：○○○○○○○○○○．
病理組織学的診断：○○○○○○○○○○．

B.　修復治療に重点を置いた報告の場合

患者：○歳，○性．
初診：20×× 年○月．
主訴：○○○○○○○○．
（家族歴：○○○○○．）
既往歴：○○○○○○○○．
原疾患：臨床診断名，病理学的診断名など．
現病歴：原疾患の治療経過あるいはこれまでの修復治療の経過など．
現症：修復処置開始前について記載する．
（必要に応じ下記項目に分ける．）
全身所見；○○○○○○○○○○．
口腔外所見（顔貌所見）；○○○○○○○○○○．
口腔内所見；○○○○○○○○○○．
X 線所見；○○○○○○○．
（その他の画像診断所見：○○○○．）
（その他各種検査所見：○○○○○．）
臨床診断：主に欠損に関連した診断を記載する．
修復処置ならびに経過：○○○○○○○○○○．

症例や報告の内容によって必ずしもこの書式通りに記載することができない場合や簡略化してもよい場合は，この書式を基本として必要に応じて項目の削除あるいは追加をしてもかまわない．また必要に応じて A，B の書式を適宜組み合わせて記載する．